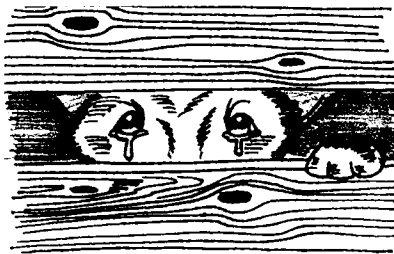


動物収集マニアの事例

動物虐待にも、様々なかたちがあります。前回、ニュースレター38号では、埼玉のブリーダーのケースをとりあげました。仕事に失敗した繁殖業者が、飼育していた多数の犬を放置して、脱水症と飢えで死なせてしまうというものでした。しかし、動物繁殖業者というのは、ペットショップや動物商、遊園地経営者と同じく、商売上の利益をあげることにしか念頭にないものなのです。金儲けのために動物を利用する者は、動物も、自動車とかテレビと同様、市場で売買する商品としか見ていません。こういう人たちは、とうてい、「動物愛好家」とは言えません。

「動物好き」と自称する人がいますが、彼らの方がある意味ではたちが悪く残念ながら動物の最大の敵になることも多いのです。彼らとは、すなわち動物を収集するコレクターです。収集家はいくつかのカテゴリーに分けられますが、必ず共通の基本的特性を備えています。どのような理由で集めるにせよ、道端で見つけた動物を次々に引き取るとか、飼ってい

るペットをただ繁殖するにまかせるとか、いずれの場合も彼らにとって収集そのものが麻薬みたいなもので、中毒にかかってしまうのです。そうすると、周囲の者に対して猜疑心が強くなり、友人や手を貸してくれそうな人がいても、自ら遠ざけてしまうのです。やがては自分ひとりでやっていく自信が持てなくなり、適切に対処する能力を失った結果、飼育所がさながら地獄と化してしまうので



す。この手のコレクターは基本的に自己中心的で、収集することから得られる満足感にひたるだけで、飼われる動物の苦しみなど考えようとしません。私どもの経験からすると、こういう人たちに理屈でわからせることは至難のわざです。彼らは、中毒のあまりに狂気じみできて身のまわりの悲惨な状況が見えなく

なります。自分がしていることは正しいと信じ込んでいるのですから。

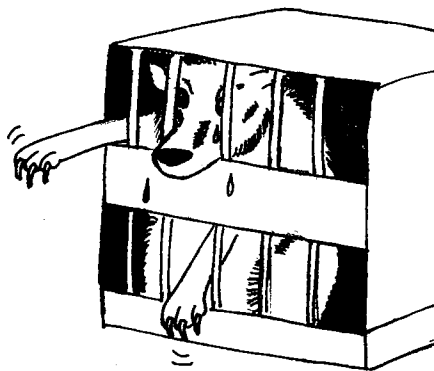
アークが最近援助を要請された事例ですが、ある動物コレクターの場合は次のようなものです。兵庫県丹波地方の人里離れた所で、「狂った女」が約50匹の犬を飼っています。正確に何匹なのかは彼女にもわかりません。4年前に京都から引っ越してきて以来、恐ろしい生き地獄が続いています。私どもが訪ねて行ったときは、一部の犬しか目にするのができませんでした。ほとんどの犬は、彼女の言う「家」—実は暑苦しく風通しの悪いプレハブ小屋—に閉じ込められていたからです。人間との接触が少ないため彼らは半野生化していて、彼女でさえ扱いに手をやく犬もあります。汚物にまみれた不潔きわまりない外周りをただで、内部の状態が想像できます。窓から投げ捨てられた大量の糞が、プレハブの壁沿いにうすたかく積みれ、そこにハエの大群がたかって増殖している。餌が地面に落ちて腐敗し、糞と入り混じっている。内部の犬は一度も外に出されたこと

Collecting mania

Cruelty to animals comes in different guises. The Saitama case which we highlighted in our previous newsletter 38, shows how a breeder who's business failed, left his animals to die of dehydration and starvation. Breeders however, like pet shops, animal traders and amusement parks only have commercial interests at heart. Anyone who exploits animals for the purpose of making money merely regards them as commodities, to be bought, marketed and sold, like cars or televisions. These sorts of people do not claim to be "animal lovers."

Worse, in a sense, are people who claim to "love animals" and sad to say, they are often animals' worst enemies. These are the "collectors." Collectors fall into different

categories but they all share the same basic traits. For whatever reason they collect, whether by continuously taking in animals



they find on the street or by letting their own animals breed uncontrollably, collecting for them is a drug to which they have become

addicted. As this addiction takes its grip, they begin to distance themselves from friends or would-be helpers becoming suspicious of everyone's motives. As they gradually withdraw convincing themselves they can go it alone, they lose their ability to cope and the whole place degenerates into a hell-hole. These collectors are basically self centred and only consider the satisfaction they get from collecting not the suffering of the animal in their care.

From experience we have found it is very difficult to reason with these people because their addiction has brought them to the point of madness and they are unable to see the obvious misery around them, convinced they are doing the right thing.